
「日本人の私、お墓は日本」

心に決めて世界に向かって羽ばたきを始めた私。

幼い頃TVの兼高かおるの世界での活躍を見ていた私は、成人して自分も世界に飛び立とうと志していた。

日本人として世界に通用する基礎素養、日本を学び、礼節を身に付け、トロント滞在で英語を磨き、帰国して選んだ道が金融の世界。

然し、当時の日本金融界は女性活躍の余地はなかった。

唯一の選択肢、在日米国銀行に得た働く場が世界への足がかりとなり、目の前の責務を桑の葉を噛む蚕のように一途にこなし続ける内にいつの間にかグローバルな視点でのキャリア展開となっていた。

あつという間に三十六年の金融生活が過ぎた。

自分の力だけではなかった、沢山の人の助けで生き抜くことが叶った。
「人生は人と人との巡り逢い」だった。

その素晴らしい数々の巡り逢いへの感謝を現場からの声で皆さまにもお伝えしたくて筆を執った。
